

# 地域コンテンツのコーディネートに関する調査の請負 ＜報告書＞

## 【目次】

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 1. 本調査の目的.....                    | 1 |
| 2. 地域コンテンツのコーディネート準備.....         | 2 |
| 3. 地域コンテンツのコーディネート.....           | 3 |
| 4. コーディネート結果を踏まえた検討（情報発信の結果）..... | 9 |

平成 23 年 3 月

## 1. 本調査の目的

これまで四国コンテンツ連携推進会議を中心として継続されてきた、地域コンテンツの制作・利活用による地域づくりと人づくり推進を踏まえ、更にその企画、生産、流通のサイクルを一層強化するために、企画、制作及び情報発信をコーディネートできる人材（コーディネータ）の育成・確保を図ることを目的としている。

特に本調査では、地域住民等が、地域貢献を目的とした地域コンテンツを企画、制作及び情報発信していく中で、地域資源の発掘、プロモーション、企画、情報発信におけるメディアへのアプローチに係る作業を地域組織（個人、団体）と連携してコーディネートする際の課題や方策を提起し、それぞれのシーンにおいて検討・検証した内容を取りまとめ、「地域コンテンツ流通コーディネートに関する手引き書（仮称）」（以下、「手引き書」という）を作成し、地域コンテンツのコーディネートに関する人材育成の取組を通して、地域ICT利活用の促進を図ることを目的としている。

## 2. 地域コンテンツのコーディネート準備

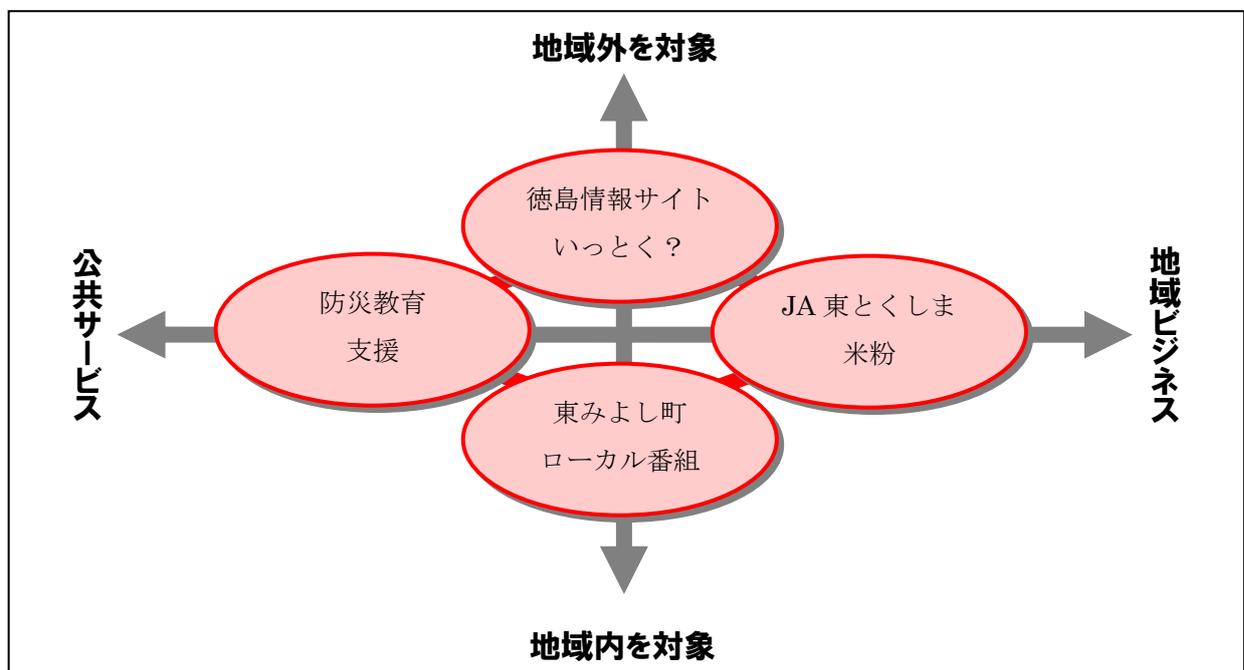
本調査では具体的なコーディネート対象として、次の4企画を実施した。

|             |                 |                  |                |              |
|-------------|-----------------|------------------|----------------|--------------|
|             | 東みよし町<br>ローカル番組 | 徳島情報サイト<br>いっとく? | JA 東とくしま<br>米粉 | 防災教育支援       |
| 地域貢献に繋がるテーマ | 文化<br>伝統継承      | 観光振興             | 販売促進           | —<br>(安全・安心) |

これら4企画の選定経緯としては、それぞれが優良な取組として地域の活性化に向けた視点が重視されているとともに、本事業に興味を有しており、うち3事業については「地域貢献に繋がるテーマ」とも合致し、地域コンテンツの制作と発信が各取組において有効であるとともに、調査への参画の意思表示を得られていたことが挙げられる。

またバリエーションの観点からは、「地域の内/外」といった取組の対象ターゲットに係るバリエーションと、「地域ビジネス/公共サービス」といったサービス区分に係るバリエーションをそれぞれ網羅しており、本調査において、様々なケースを想定したコーディネートの実証という観点からは、選定として適切であると考えられる。

コーディネート企画の位置付け



### 3. 地域コンテンツのコーディネート

#### 3.1 東みよし町ローカル番組について

|       |   |
|-------|---|
| パートナー | 東みよし町   |
| 目的    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 東みよし町 CATV にて、ふるさとを再発見できる町民向けのローカル番組の作成した</li><li>● 東みよし町以外の地域でも役立つ、ローカル番組製作のモデルケースを目指す</li></ul> |
| ターゲット | 東みよし町民  |
| (対策)  | ふるさとの魅力を再認識し、町民一人一人の笑顔が見られるようなコンテンツにした  |

以上を踏まえて、本企画においてはテーマを2つ設定し、以下のとおり企画・制作を行った。

##### 3.1.1. テーマ1：「めるしー東みよしっ子」

###### (1) コンセプト

感謝の気持ちを大切な人に伝えて、その人との絆を再確認してもらう。

###### (2) 番組の時間

5分×4回分（1回3～4人が目安）

###### (3) 番組内容

東みよし町まつりの会場に集まった子供たちに、日ごろお世話になっている年上の人たちや、同年代の友達などに対して、普段は伝えることのできない感謝の気持ちを、「ありがとう」を言いたい人の名前をスケッチブックに書いてもらい、カメラに向かって語ってもらう。

こちらから質問して、少し話を膨らませながら1人につき1分程話してもらう。

###### (4) 収録などの概要

収録日時：平成22年10月31日（東みよし町まつり内）

撮影場所：東みよし町 ぶぶるパーク・トレーニングセンター

使用機材：カメラ1台、ガンマイク1本、三脚1本、スケッチブック1個、マジックペン3本

スタッフ：4名

収録時間：10:00～15:00 5時間程度

撮影対象：イベント会場にいる若年層(小・中・高生)

効果予測： その番組を見たくなる／ケーブルテレビを知る／感謝の気持ちを改めて知る

### 3.1.2. テーマ2：「勝って遊んでチームバトル！」

#### (1) コンセプト

東みよし町のお祭りに観光に来た人達に楽しくゲームに参加してもらいTVに出演したという思い出を作ってもらおう。

#### (2) 番組の時間

30分

#### (3) 番組内容

チーム対抗で出題したいお題をクリアしてもらおう（ジェスチャー、うろ覚えお絵描き、借り物競争）。具体的には、お祭りに来ている人達に協力していただいてチーム対向で以下のゲームをしてもらい、3つあるゲームの中でより多く勝利したチームが優勝となる。

チームはお祭りの観光客の方にその場で直接交渉して確保した

<ゲームの内容>

##### ①ジェスチャーゲーム

チーム内から2名選出し一人が出題、もう一人が解答者になって相手チームと解答がわかるまでの時間を競う。

早く解答できたチームが勝利となる。

##### ②うろ覚えお絵描き

チーム全員で相談しながら出題したお題を自分達の記憶力だけで描いて貰い、どちらがお題のものに似ているか勝負。判定は第3者（他のおまつり観光客）に数人協力してもらい判断してもらおう。（誰でもわかるようなお題 例：馬など）

##### ③借り物競争

借りに行く人1名を選んでもらい、出題した答えのものを探してきてもらう。

相手チームより早く正解のものを持ち帰ってくれば勝利となる。

#### (4) 収録などの概要

収録日時： 平成22年10月31日（東みよし町まつり内）

収録場所： 東みよし町三加茂農業者トレーニングセンターイベント会場内

収録時間： 10時半～13時頃まで

スタッフ： 5人（大型カメラ1人、小型カメラ2人 MC兼ディレクター1人 AD1人）

必要機材： 大型カメラ1台、小型カメラ2台、手持ちマイク、ガンマイク  
ゲームごとの用意物（以下）

ジェスチャー： 仕切り（相手チームを見て解答しないように）  
うろ覚えお絵描き： ホワイトボード ペン 2セット  
借り物競争： くじ引き（お題の書かれた紙、くじを入れる箱）

#### **(5) 備考**

参加してくれた人に参加賞を贈与した。また優勝チームにも賞品を用意した。東みよし町から参加賞としてイベント会場の食券などを準備していただいた。

## 3.2 防災教育支援

|       |  |
|-------|--|
| パートナー | 徳島県立防災センター   |
| 目的    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 学生が徳島県立防災センターおよび徳島新聞社と連携し、小学生用の防災教育のための映像コンテンツを製作した</li><li>● 防災教育のための映像を中心とした教材開発、防災センター職員による講義ビデオ、防災センター紹介 PV 等を製作し、防災啓発、教育支援をした</li></ul> |
| ターゲット | 徳島県民、小学生、学校関係者、防災組織関係者   |
| (対策)  | アニメーションを中心として、詰め込みすぎず、子供が分かりやすいコンテンツにした  |

以上を踏まえて、本企画において以下のとおり企画・制作を行った。

### (1) コンセプト

県立防災センターと連携し、防災関連の小学生高学年向け教材コンテンツの作成を行う。

### (2) 番組内容

南海地震教材ビデオ「津波日から学ぶ、徳島の地震の歴史」の制作を行う。

(概要)

#### ①人物の登場

登場人2人が徳島の地震について調べていると、地震が発生する。

これをきっかけに徳島の地震や津波について調べ始める。

#### ②津波碑の紹介

地図を見せながら県内に点在する津波碑を紹介。

その中から最古の津波碑である「康暦碑」をピックアップして紹介する。

#### ③地震の歴史の紹介

南海地震を、起こった大まかな年表と共に日本史とリンクさせながら紹介。

康暦碑が建てられた時代(1361)、宝永地震(1707)、昭和南海地震(1946)をピックアップ。

#### ④過去の地震の被害

昭和南海地震の被害について、実際の記録をもとに図を使い、

津波の高さ・地震の震度・被害の規模などを紹介。

#### ⑤教材のまとめ

康暦碑の教訓である「二度と津波被害にあわないように心がける」から、

さらに地震について調べて防災の意識を高めなければいけないとまとめる。

### 3.3 J A東とくしま 米粉

|       |   |
|-------|---|
| パートナー | J A東とくしま  |
| 目的    | <ul style="list-style-type: none"><li>● ここ数年急速に注目を集めている「米粉」をテーマとした映像コンテンツを制作した</li><li>● 徳島発の FOOD ACTION NIPPON を展開する</li></ul>                                  |
| ターゲット | <ul style="list-style-type: none"><li>● 食の安全と豊かさ、食糧自給率等、食育に関心のある方</li><li>● 米生産者、米販売者。特に、米粉を使用した商品の開発・販売に携わる方</li><li>● 米消費者（特に、健康（血糖値、小麦アレルギー）に関心の高い方）</li></ul> |
| (対策)  | 単なる販売促進が目的ではなく、徳島発の FOOD ACTION NIPPON として取り組んでいることを理解してもらえるようにした。<br>料理番組の収録では、原材料の分量等が分かるよう、字幕をつける。また、作業工程が分かるよう手元のアップ等、複数のアングルから撮影した。                          |

以上を踏まえて、本企画において以下のとおり企画・制作を行った。

#### (1) コンセプト

徳島発の FOOD ACTION NIPPON を展開する。

#### (2) 番組内容

米粉のことを知ってはいても米粉をどう使っていいかわからない人が多い。

実際には米粉は小麦粉の代用として使用することができるので、料理の作り方は変わらないが、仕上がりの味と食感に違いが出てくる。

そんな材料を選ぶ選択肢の1つである米粉を身近な食材であるとアピールし、一般の家庭に浸透するような映像コンテンツを制作した。

米（又は米粉）生産者からの PR、栄養の専門家からの解説等を含めつつ、料理番組として粉を使った料理又はお菓子作り収録した。

具体的には以下の2点を対象とし、放送時間等によって、各々を分離して放送することも可能な作りとした。

- 米粉を使ったクリームシチュー
- 米粉を使ったホットケーキ

#### (3) 備考

情報発信においてCATVからの情報発信を想定し、米粉自体のPRとなる内容については問題ないが、具体的な製品等のPRが含まれないことに留意して制作した。

### 3.4 とくしま情報サイト いっとく？

|       |  |
|-------|--|
| パートナー | 財団法人e-とくしま推進財団   |
| 目的    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 財団法人e-とくしま推進財団と連携して、「徳島情報サイトいっとく？」(Web、デジタルサイネージ)用に観光地PVを中心とした映像コンテンツを製作、掲載した</li><li>● サイトの充実、利用者を増加し、徳島の観光やイベント、暮らしに関する情報を発信し、地域活性化に貢献する</li></ul> |
| ターゲット | 徳島県民、徳島県外に在住する徳島に関心のある者(観光者等)  |
| (対策)  | デジタルサイネージでの利活用も想定しているため、地域住民だけでなく観光客にも足を運んでもらえるよう、目的地までのルートや駐車場、周辺施設の情報も含んだコンテンツにした。   |

以上を踏まえて、本企画において以下のとおり企画・制作を行った。

#### (1) コンセプト

「ちょっと足を伸ばせば、こんな良い所があったのか。行ってみよう！」と思わせるようなPVを制作した。

#### (2) コンテンツの時間

比較的短時間で視聴できるものにする。

#### (3) 番組内容

徳島の再発見を促す観光資源として滝についてコンテンツを制作し、□ 財団法人e-とくしま推進財団が実施している「徳島情報サイトいっとく？」に投稿するコンテンツを制作した。

場所や当日の天候、時間帯等によっても左右されることもあり、事前にインターネット上の地図等を活用して時間帯や場所(向き等)について入念に確認したうえで、現場でロケハンと撮影を同時に行った。

e-とくしま推進財団で既に投稿されている滝の動画と違和感がないように見やすく編集した。結果的に以下の作品が完成し放送等ができた。

- 観音滝
- おん淵滝
- 灌頂滝
- 八多五滝

#### 4. コーディネート結果を踏まえた検討（情報発信の結果）

##### 4.1 発信メディアの選定

前述により企画・制作した地域コンテンツについて、それぞれ目的・ターゲットに合わせた情報発信として以下のとおり情報発信を行った。

| 地域コンテンツ            | 情報発信メディア        |                              |
|--------------------|-----------------|------------------------------|
| 東みよし町ローカル番組        | 県内ケーブルテレビ<br>9社 | 番組告知サイト（町ホームページ）、VOD サイト、広報誌 |
| 防災教育支援             |                 | —                            |
| J A東とくしま 米粉        |                 | —                            |
| とくしま情報サイト<br>いっとく？ |                 | 映像掲載サイト（いっとく？）               |

##### 4.2 情報発信の結果

以上の情報発信について実施（2011年1月19日～2011年3月3日までの計測）した結果、それぞれのメディアにおける情報発信量は以下のとおりであった。

| 区分           | 効果       |
|--------------|----------|
| ケーブルテレビ      | 280 回放送  |
| 番組告知サイト      | 750PV    |
| 映像掲載サイト      | 213PV    |
| VOD サイト・動画閲覧 | 225 アクセス |
| その他に広報誌等に掲載  |          |

今回実施した一連の地域コンテンツの企画・制作・情報発信により、実際にコーディネートにおいて発生しうる課題について、例えば以下のように抽出することができた。

企画段階：

様々な立場・状況のパートナーとのコミュニケーションへの対応（目的やターゲットが明確なパートナー／企画検討と並行してニーズが明確化するパートナー／自由に制作を任せるパートナー等）

制作段階：

制作を進めるにあたってのパートナーとの品質調整等（絵コンテ及びリハーサルの重要

性／パートナーによるレビューのタイミング／修正対応をあらかじめ考慮したスケジュール等)

情報発信段階：

実際に情報発信を行うことで考慮すべき地域メディアとの調整事項等（地域メディアで流せるコンテンツと放送枠／放送計画に配慮したスケジュール／誘導メディアの展開に配慮した制作時の権利処理等）

また、地域コンテンツの活用の社会的な（地域としての）意義という観点では、今回、地域で映像制作のスキルを有した学生と実証を行うことで、学生がコーディネータとする中で地域資源を再確認し、そのアピール方法を検討する等、地域と人とのつながりを映像という媒体で生み出す効果が期待できることを検証できた。

また、それを進める上では、上述の企画、制作及び情報発信の行程において、地域内外の連携が必須であり、あらためてこれらをつなぐコーディネータの役割が有効であることも確認することができたと考える。

#### 4.3 まとめ ～地域づくり・人づくりに向けた地域コンテンツのコーディネータ～

我が国では、都市一極集中型の社会構造からの脱却を目指して、地域活性化のための様々な取り組みが展開されている。

その基礎となるのが、地域の資源や文化等を基にした強み、いわゆる「地域らしさ」の有効活用と、それを活用していく「人」の存在、そしてそれらを連携し実際の活性化を生み出すための「場」といえる。

地域コンテンツの推進によって、メディアをはじめとする同・異業種連携による地域メディアミックスやマルチユースなどの展開が「地域らしさ」と「人」を結びつけ、且つ新たな「場」の創造への可能性を持っており、今後、これら事業取組の透明化・オープン化は地域住民の理解及び支援により、更に地域に浸透し継続されることで、地域外との交流拡大への展開も期待され、結果として地域活性化の一翼を担うと考えられる。

地域コンテンツによるこれらの効果を具体化するために、地域コンテンツをコーディネータする役割が必須と考えられ、更に地域コンテンツをコーディネータするなかで、（地域コンテンツだけではなく）「地域」、「人」の連携をコーディネータしていく核として発展することも期待され地域活性化のキーマン育成にもつながることが期待される。

#### 4.4 「地域コンテンツコーディネータ Manual」の作成

以上の結果を踏まえ、今後、地域コンテンツのコーディネータを推進していく際に、手引書として参考とできることを想定し「地域コンテンツコーディネータ Manual」を作成した。

今後、本書が様々な生活シーンにおいて活用され、地域コンテンツをとおした地域活性化に向けた地域住民の繋がり、地域連携の継続した討論の場へ展開になることを期待する。